

**財団法人8020推進財団
歯科保健活動事業報告**

平成18年度

北海道歯科医師会

1. 事業名

地域住民を対象とした効果的なフッ化物応用に関する普及啓発事業

2. 実施組織

北海道歯科医師会・北海道・旭川市・旭川歯科医師会・上川中部地域歯科保健推進協議会

3. 事業の目的

先日改訂された「すこやか北海道21」においてもフッ化物応用のための環境整備が挙げられているが、本会としても、依然として全国平均を上回っている本道の12歳児DMFT（平均未処置歯数）に危惧している。

平成17年9月17日（土）午後3時より、登別市民会館において「一歯の健康を考えるシンポジウム—歯からはじめる21世紀の健康づくり」を開催、参加者にフッ化物の応用は安全かつ有効であるとの共通認識を得る事ができ、登別市で計画している、学校現場におけるフッ化物洗口の更なる普及を推進させる上で、大変貴重かつ重要な機会となった。

本年度は更に広域へこの認識を広めるべく、旭川市において開催する事となった。地域住民に対し「フッ化物応用」に関する正しい情報提供と、その有効性についての共通認識を得ることを目的とする。

4. 事業の概要

旭川市および近郊地域をモデルとし、学童期におけるう蝕予防に対する「フッ化物応用」の有効性を検証し、同時に実践的活動に繋げる方法論を模索する地域住民参加型シンポジウムを開催することにより、「フッ化物洗口法」の普及を推進した。

5. 事業の評価

平成18年9月9日（土）、旭川トーヨーホテルにおいて、「歯の健康を考えるシンポジウム—さらば歯周病 さらばむし歯—」を開催した。基調講演に北海道大学大学院歯学研究科 川浪雅光教授と福岡歯科大学口腔健康科学講座 筒井昭仁助教授を迎え、「歯周病と全身との関係」「科学的に根拠のあるむし歯予防」についてのご講演をいただいた。引き続き「北海道が考える虫歯予防対策」「幼稚園におけるフッ化物洗口の取り組み」の二つのテーマに基づきトークセッションを行った。途中、参加者に実際にフッ素洗口液を使った再石灰化の体験をしていただくなど、フッ化物の効果を十分に理解してもらった事ができた。

※その他別添資料参照

歯の健康を考えるシンポジウム

本当は怖い歯周病とむし歯

さらば「歯周病」

さらば「むし歯」

生涯自分の歯でかむことで、快適な食生活、
より楽しいコミュニケーションをしたいと思いませんか？

歯を失う原因の「歯周病」や「むし歯」を賢く予防することでそれが可能です。

生きる自信と活力を持ち、生涯自分の歯でかむために

「歯周病とむし歯の予防方法」をご一緒に学び考えましょう。

川浪雅光北海道大学教授・筒井昭人福岡歯科大学助教授・丹下先生・梅田先生が
ご案内いたします。

開催日時/平成18年9月9日(土)

13:30~14:00 8020 高齢者の歯のコンクール表彰式

14:00~16:20 歯の健康を考えるシンポジウム

開催場所/旭川トーヨーホテル

(旭川市7条7丁目 TEL0166-22-7575)

入場無料 定員200名

*** 参加者の皆様にプレゼントをご用意しております。**

主催/北海道歯科医師会・旭川市

共催/北海道・旭川歯科医師会・上川中部地域歯科保健推進協議会

後援/北海道教育委員会・北海道PTA連合会・北海道子供の歯を守る会

北海道歯科衛生士会・北海道栄養士会

北海道食生活改善推進員団体連絡協議会

プログラム

Program

13:30	<第1部> 8020 高齢者の歯のコンクール表彰式	
	※14時からのシンポジウムだけの参加も可能です。	
14:00	<第2部> 開会	<ul style="list-style-type: none"> ●歯周病と全身との関係、予防で大切なこと 北海道大学歯学研究科大学院 教授 川浪雅光 ●科学的に根拠のあるむし歯予防戦略 福岡歯科大学口腔健康科学講座 助教授 筒井昭仁
14:05	歯の健康を考えるシンポジウム -さらば「歯周病」 -さらば「むし歯」- I. 基調講演	
15:30	II. トークセッション 「生涯自分の歯で噛むためには」	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道が考える歯科予防対策 北海道後志保健福祉事務所 歯科医師 丹下真司 (元・北海道医療大学歯学部助教授) ●幼稚園におけるフッ化物洗口の取り組み 北海道私立幼稚園協会旭川支部 副支部長 梅田 禮泉
		<ul style="list-style-type: none"> ■追加発言 川浪雅光 ■追加発言 筒井昭仁 ●座 長 北海道歯科医師会 常務理事 藤川 隆義
16:20	閉会	

応募要領 参加ご希望の方は平成18年9月7日(木)までに住所・氏名・電話番号を明記のうえ、電話・ファックス・Eメール・ハガキにてお申込みください。

申し込み先: (社)旭川歯科医師会 事務局(旭川市金星町1丁目)
 TEL: 0166-22-2361 FAX: 0166-24-1147
 E-mail: kyokushi@ahmic21.ne.jp

※ご応募された個人情報は、お客様の同意なしに第三者へ提出することはありません。

ファクシミリ申込用紙

住 所 _____ 所属 _____

氏 名 _____

電話番号 _____

公衆衛生部

歯の健康を考えるシンポジウム in 旭川

会場に聴衆の熱気溢れる大盛会

9月9日(土)午後2時より旭川市「トーヨーホテル」において、道歯・旭川市主催、北海道・旭川歯科医師会・上川中部地域歯科保健推進協議会共催の「歯の健康を考えるシンポジウム」が開催されました。会場は定員オーバーの聴衆の熱気が溢れる大盛会でした。

基調講演では、北海道大学の川浪雅光教授が難しい「歯周病と糖尿病等の全身との関係」を大変懇切丁寧に判りやすく話され、かつどの段階の根拠にあるかのご説明もしていただき、聴衆はその科学的な論理展開に大変感銘を受けました。歯周病を予防して、歯を残す執念を感じるご講演でした。

次いで福岡歯科大学の筒井昭仁助教授が、工夫されたスライド作成術やユーモア溢れるフッ化物によるむし歯予防の話面白く展開され、アメによる脱灰と、フッ化物洗口による再石灰化の体験なども交えてご説明いただきました。大変リラックスした分かりやすい講演であったと後日聴衆から礼状が届くほどに好評でした。

トークセッションでの2つの特別報告では、まず北海道幼稚園協会副支部長の梅田楷宗先生が「14年続いている週1回1分間の幼稚園でのフッ化物洗口」について、洗口風景などのスライドを交えて楽しく紹介していただきました。最後に北海道保健福祉部の丹下貴司先生から歯周病予防、フ

ッ化物によるむし歯予防への北海道の取り組みと行政姿勢が明確に伝わるご報告をいただきました。シンポジウムでは、4人の講師がそれぞれの特色を生かした大変懇切丁寧なご講演をされ、連携プレーによるトークセッションも短時間ではありましたが、藤川道歯常務理事の名座長のもと、要領良く上手にまとめられ大変に感銘を受けました。

いずれにしても、福富道歯副会長の的確な開会のご挨拶もあり、北海道歯科医師会と行政の姿勢が明確に伝わったシンポジウムであったと思います。

最後に、ご多忙にもかかわらず、お手伝いいただきました多くの旭川歯科医師会会員と旭川市・道歯・旭歯の職員の皆様に感謝を申し上げご報告といたします。また、反省会では講師の皆様には、さらにミニ講演をいただき、楽しくかつ勉強になる一時を過ごさせていただきましたことにお礼申し上げます。

(旭川歯科医師会 葭内副会長記)

